

道の駅「瀬替えの郷 せんだ」

- 夏と冬の2面活用を目指す豪雪・中山間地の道の駅
- 夏は農業実習生の受け入れ拠点に、冬は高齢者の共同生活の場として道の駅で越冬し、過疎・高齢化が進む豪雪地帯で、担い手確保と生活支援を同時に担う「道の駅」

<地方創生拠点としての機能> 地域センター型

地域福祉 高齢者の生活支援、除雪ボランティア	産業振興 農業実習生の受け入れ	地方移住等促進 新規就農及び定住支援
----------------------------------	---------------------------	------------------------------

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
瀬替えの郷せんだ	新潟県	十日町市	国道252号	既設	平成13年	単独型

夏と冬の2面活用を目指す豪雪・中山間地の道の駅



<実施内容>

- 担い手の確保
 - ・農業実習生の受け入れ(「せんだ元気ハウス」に宿泊)
 - ・「雪かき道場」開設による除雪ボランティアの育成
 - ・地方移住に必要な空き家情報や就労情報などのワンストップ提供
- 高齢者の生活支援
 - ・高齢者の越冬のための共同生活の場となる「せんだ元気ハウス」の設置
 - ・高齢者の移動支援(道の駅を拠点としたコミュニティバスの運行等)
- 生活サービスの集約(地域のお茶の間)
 - ・日用品販売所(ミニスーパー)、ATM、交流の場の設置
 - ・地元農産物の加工施設や直売所の設置

地域の課題

- ① 担い手不足**
 - ・高齢化率48.7%
 - ・地域の福祉を担う組織も構成員の高齢化が進展
 - 持続的なまちづくりが困難
- ② 高齢者の不安な冬期生活**
 - ・約4割が高齢者のみの世帯
 - ・冬の除雪、買物や通院に支障
 - 冬期の高齢者の孤立防止、生活支援が必要
- ③ 公共交通サービス低下**
 - ・路線バス1路線(1日5便)
 - ・生活関連施設へのアクセス支障(市役所 約9km、金融機関 約9km)
 - 日常サービスの強化が必要



<提案の先駆性・ポイント>

- 外から人を呼び、元気を創る「夏の拠点」
 - ・農業実習生の受け入れ(「せんだ元気ハウス」に宿泊)
 - ・地方移住と新規就農の支援
 - ・地元農産物による産業活性化
- 豪雪期に、共同生活の場となる「冬の拠点」
 - ・越冬のため「道の駅」で共同生活(「せんだ元気ハウス」で生活)
 - ・生活サービスの道の駅への集約
 - ・除雪ボランティアによる高齢者生活支援

夏と冬の2面活用